

ナショナルセンターに混乱を持ち込んだのはJR連合だ！

JR東日本ユニオンは、「JR東日本ユニオン組織通信 No.175」で、JR連合を代弁して、JR総連小田委員長の発言を揶揄している。

事件の評価は勝手にしてもらって構わないが、小田委員長が発言しなければならなくなっただのは、角田会長が労働者に対して、

「本日の判決を受けて、東日本会社は毅然とした態度で厳正な処分をすべきだ。」などと非常識な発言をしたせいではないか！

さらに言うに事欠いて、連合執行委員会で、

「国際人権B規約は推定無罪のことだけを言っているわけではない」と発言。

「労働者を退職に追いやった」と指弾する当の本人が「労働者に厳正な処分を」とさげふ滑稽さにまだ気づかないのか？

「労働者の地位を守る」、「有罪が確定するまでは無罪」と当たり前の立場に立てば対立などありえない。

これが「退職強要」を糾弾する者の真の姿だ！